

3/18

## 国民の皆さんに信頼される自衛官に 氷見市自衛隊入隊者激励会

氷見市自衛隊入隊激励会が開催され、入隊者4人と氷見市自衛隊家族会、自衛官募集相談員などが出席しました。

今回入隊するのは陸上自衛隊に入隊する佐賀田駿さん、田谷勇人さん、野流雲さん、航空自衛隊に入隊する橋本銀士さんです。

市長は「厳しい訓練を乗り越え、国民の皆さんに頼られる自衛官になってほしい」と励まし、入隊者を代表して田谷さんが「信頼される自衛官になれるよう頑張りたい」と決意を述べました。

林市長、氷見市自衛隊家族会の井嶋会長から、健康で活躍されるようにと記念品が手渡されました。



3/25

## 地域資源と課題を学びの場に 氷見高校と包括協定を締結

氷見高校と市は、連携協力に関する包括協定を結びました。

林市長は「産学官が連携することで、より有意義な学びの場を提供していきたい」と、大崎校長は「生徒にとって地域の魅力を再発見できる機会になってほしい」と語りました。

今後、総合的な探究の時間「HIMI学」で、第2期氷見市まち・ひと・しごと創生総合戦略の施策を中心に、市職員や地域おこし協力隊と連携し、地域資源や地域課題を題材に学びを深めます。

氷見市と富山県立氷見高等学校との  
連携協力に関する包括協定締結式



3/27

## 氷見に新しい交流の場を 「富山県地域おこし協力隊表彰」グランプリを受賞

令和元年度富山県地域おこし協力隊表彰でグランプリを受賞した氷見市地域おこし協力隊OB・OGの平田佳史さん、荒井智恵子さん、山下健太郎さん。平田さんと荒井さんが市役所を訪れ、林市長に受賞報告を行いました。

中心市街地の空き店舗をDIYで改修し、新たなコミュニティスペース「HIRAKU」を創設。さまざまな工夫を凝らしながら、市内外の人々が集う新たな交流の場をつくってきたことが評価されたものです。

平田さんと荒井さんは「コツコツ頑張ったことが評価されてうれしい。今後は、ぜひ市民の方々に『HIRAKU』の新しい使い方を提案していただきたい」と笑顔で語ってくれました。



3/31

## 次は氷見市の観光大使に 小野前副市長へ氷見市きときと魚大使を委嘱

平成 30 年 4 月から 2 年間、氷見市副市長として本市の地方創生にご尽力いただいた小野裕一郎氏に観光大使「氷見市きときと魚大使」を委嘱しました。

小野氏は「期待を上回る氷見の食文化などの魅力を体験することができた。東京でもこの魅力を発信していきたい」と述べ、林市長と力強く握手を交わしました。

今後も、氷見市のきときとの魚介類や農産品の PR など、氷見市の魅力発信のため幅広くご協力をいただきます。



4/15

## 市民の安全を願い、国境を越えて ご寄付をいただきました

友好交流協定の締結を予定している中華人民共和国浙江省寧海県せいこうしやうから、マスク 1 万枚を寄付していただきました。

新型コロナウイルスが世界的に蔓延している状況の中、氷見市民の安全を願う思いとともに、国境を越えて、ともに新型コロナウイルスの脅威に立ち向かおうという思いから寄贈されたものです。

4 月 15 日、氷見医療福祉国際友好親善事業実行委員会の代表である松谷三和さんが市役所を訪れ、マスクの贈呈式が行われました。

マスクは、市内医療機関や小中学校などに配布する予定です。医療従事者の皆さんや子どもたちの感染予防にしっかりと役立てていきます。

